

施策カルテ

1 施策の位置付け

				担当課	生涯学習課		
総合計画 政策の柱	市民の学び意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	生涯にわたる学習活動を促進する	取組の 基本方向	「生涯にわたる学習活動を促進する」ため、地域での学習活動を通してまちづくりなどに貢献するための「社会をつくる人づくりの推進」、地域全体で子どもを育成していくための「家庭・地域の教育力の向上」、市民の主体的な生涯学習活動を促進するための「生涯学習活動への支援充実」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲をもって地域のための活動に取り組んでいます。

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	社会をつくる人づくりの推進		④ 施策の達成状況	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)	
	② 施策目標			施策指標(単位)		実績値	実績値	実績値	実績値		実績値
一人ひとりが人間力を向上させ、よりよい地域社会をつくるために貢献しています。				指標① (総合計画に基づく指標)	30814	48,535	31,600	32,400	33,200	34,000	131.6%
③ 施策を 取巻く環境	国・県等の動向	急激な社会環境の変化に伴い、市民のライフスタイルや価値観などが多様化している現代において、地域社会に貢献する人材を育成するために、様々な学習ニーズに対応した魅力ある講座等の企画や家庭、地域、学校、企業等と行政の連携による社会全体での人づくりの取組などが求められている。		指標②		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	77.0%
	外部意見 その他	・地域の指導者として活躍できる人材の確保や、急激な社会変化に対応するための市民の学習機会の確保が重要な教育課題であり、地域教育の着実な推進のため早急に体制整備に取り組む必要性について ・地域教育プランの基本理念に掲げる学びを通して豊かな人間性をはぐくみ、子供の育ちや地域社会を支える人づくりを着実に実現するためにふさわしい体制づくりについて 市議会から一般質問等により指摘を受けている。		指標③		1,723	1,539	500	500	500	70.6%
				指標④ (特記事項)		500	500	500	500	500	70.6%

⑤ 市民意識調査結果		市民の 施策満足度	18.9%	市民の 施策重要度	48.6%	⑥ 施策の評価		⑦ 現状分析と課題の抽出		成果が見られる点 改善の必要な点	
		達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	● 概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	全生涯学習センターの講座・事業への延べ参加者数は目標値を大幅にクリアしているとともに、マナビスの登録件数については、目標値の84%となっており、概ね目標を達成している。	(3) (5) (6) を踏まえた分析 施策指標である全生涯学習センターで開催される講座・事業への延べ参加者数は、目標値を大きく上回り、マナビスの登録件数についても、講座、団体・講師とも達成率は70%を超えている。実績値は、事業の効率化や運用方法の見直しなどにより前年度を下回っているものの、各事業が市民一人ひとりの人間力の向上に寄与するとともに、地域づくりや社会活動を促している。		今後さらにまちづくりを担う人づくりを推進していくため、地域教育メッセの開催等により、主体的な学習活動を行う人々、団体同士を新たにつなぐ人材交流機会の充実や、学習成果を生かす機会や場の創出をはじめ、人と人、人と地域をつなげる仕組みづくりを進める必要がある。また、地域のリーダーづくりなどの人材の育成が求められていることから、引き続き成人対象事業や青少年対象事業の実施により、地域社会に貢献する人材を育成していくとともに、社会人や高齢者を含めた新たな宇都宮市独自の成人教育のあり方について検討する必要がある。	
		必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している	● 横ばい	減少している	説明	市民意識調査では、見直し、効率化が求められているが、地域教育の推進にあたり市民が地域で主体的に活動する際の指導者となるべき人材の育成の重要性は高く、育った人材が活躍する機会や場の創出も求められている。また、地域教育の推進の取組において中核を為す大人の意識変革が不可欠であり、大人に対する学習機会の提供や啓発を「成人教育」として改めて整備していく必要がある。				
		適切性 (適切な事務事業の選択、実施)	● 十分である	● 不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	施策の達成状況の目標値において、実績値は目標値を上回っている半面、前年度と比較すると低くなっているが、社会をつくる人づくりの推進に対する貢献度は非常に高い。ただし、一部講座等で取り組むべき課題でありつつも、定員に満たないなど、改善の余地のある事業があることから、運営手法等の見直しを行いながら、引き続き推進していく。				
		有効性 (政策目標への効果)	● 十分である	● やや不十分である	不十分である	説明	各生涯学習センターの事業は身近な地域社会における人づくりに欠かせないものであり、様々な世代からの多様な学習ニーズに対応し、積極的に取り組んできたことにより目標を超える参加者があったことから、十分な効果を挙げていると思われる。				

3 今後の取組方針

⑧ 取組の 考え方	総論	地域との更なる連携強化により、地域の課題の把握とともに、求められる人材の育成と活躍の機会や場の創出を図り、人と人、人と地域をつなげる仕組みづくりを進めていく。また、人材かがやきセンターを拠点とし、地域のリーダーづくりをはじめとする人材育成事業の体系化や学習プログラムの開発・実施を行う。さらに、引き続きまちづくりを担う人づくりの推進のため、成人対象、青少年対象の各種講座事業はもとより、先のようなことを通して、施策の重要性等について市民の意識醸成に努めるとともに、着実に地域社会に貢献できる人づくりを推進していく。	⑨ 政策評価 会議意見	<ul style="list-style-type: none"> ・施策に対する満足度・重要度ともに市民の意識があまり高くないことから、施策の重要性等について市民の意識醸成に努めるとともに、着実に地域社会に貢献できる人づくりの推進のため、人材育成事業の体系化や学習プログラムの開発・実施、地域との連携の仕組みづくり、地域人材の活動機会や場をコーディネートする仕組みづくりの検討などを進めていくこと。 ・なお、成人式実行委員会交付金については、地域の声や社会教育委員の意見等を踏まえながら、新成人の企画・運営への参加促進や地域の特色ある懇親会等交流事業の実施など、地域教育の推進における成人式事業の活用方策を検討すること。
	重点事業	市民意識調査の重要度が低く、目標値に対する実績値も低い施策であるが、社会をつくる人づくりの推進に対する新たな視点から重要性が高まっており、人材かがやきセンターを拠点とし、人材育成事業の体系化や学習プログラムの開発・実施、地域教育に係る事業の検証と改善策の検討を行っていく。また、地域教育推進のための地域との連携の仕組みづくりや地域人材の活動機会、活躍の場をコーディネートする仕組みづくりを検討していく。さらに、成人教育のあり方については、社会教育委員の答申を踏まえながら、宇都宮市独自の取り組みとして検討を進めていく。		
	見直し事業	河内ふれあいコンサート交付金については、他のイベントとの一体的な推進により、より効果的、効率的に実施できることから、平成21年度をもって廃止する。また、成人式実行委員会交付金については、地域の声や社会教育委員の意見等を踏まえながら、地域教育の場としての活用方策の検討や運営のあり方、費用負担の考え方について整理していく。		

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H20	H21	H20	H21	重点度 (A~C)	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	生涯学習ボランティア養成事業 担当課 生涯学習課	生涯学習講座の企画運営に関心のある市民	H13	コーディネーター養成講座修了者数	40	40	295	51	A	継続	地域教育プランの基本理念にあるように、今後の生涯学習は地域を支える「人づくり」を推進していくことであり、生涯学習ボランティアの養成事業は重点事業のひとつである。社会的ニーズも高く今後とも継続していく必要があること。また養成講座修了者の支援を積極的に行っていくこと。
					13	12					
2	人材かがやき支援事業 担当課 生涯学習課	生涯学習にかかわる市民	H20	メッセ出展団体数	30	40	7	112	A	継続	人材の相互交流や成果発表の機会として貴重な場であり、市民の学習機会の創出に貢献している。今後は、地域人材育成の視点を取り入れ、より参加しやすい事業実施や出展団体や来場者を増加させる方策等を検討し、活発な交流が図れるよう事業の充実を目指していくこと。
					37	35					

様式 2

3	成人対象事業		概ね18歳以上の市民	S24	講座数	33	27	18,829	15,690	A	継続	生涯学習の成人事業に対するニーズは高いため、多様な市民ニーズや様々な社会情勢に対応した魅力ある講座を今後も開設すると同時に、市民が運営する講座なども取り入れる工夫をすることとし、学んだことを活用する機会や場の提供にも積極的に取り組むこと。また、成人教育のあり方について、新たな宇都宮市独自の取り組みとして検討を進めること。
	担当課	生涯学習課				29	26					
4	青少年対象事業		市内小中学生、高校生及び市内に住んでいるか勤めている18歳から30歳までの市民	S24	講座数	12	10	1,699	983	A	継続	多様化する青少年のライフスタイルや学習ニーズに対応するために必要かつ有効な事業であり、今後さらに内容の充実を図りながら、より多くの青少年が参加できる学習環境を提供するとともに、協働可能な各種団体との連携についても検討していくこと。
	担当課	生涯学習課				13	10					
5	人づくりビジョン推進事業		全市民	H18	地域、企業等出前講座回数	15	10	3,518	4,187	A	継続	施策目標達成のためには、家庭、地域、学校、企業等と行政の連携が必要不可欠であり、今後も一層の意識啓発を行うこと。また、市民主体による人づくりのしくみづくりについては継続的に検討していくとともに、他の人づくり関係事業との連携などによる効果的な事業の実施が必要であること。
	担当課	教育企画課				11	5					
6	生涯学習情報提供事業		全市民	H3	登録件数（講座、イベント、施設、団体、講師）	6,500	5,000	6,786	6,489	B	継続	市民の自主的な学習活動を促進するために効果的な事業であり、施策目標への貢献度は高い。より市民に利用されるシステムとするために、今後も様々な機会でのマンピスの周知活動を行うことにより認知度を高めるなど、事業の定着を図っていくこと。
	担当課	生涯学習課				4,578	4,119					
7	市民大学運営協議会交付金		市内在住、在勤の18歳以上の人	H5	講座実施回数	136	136	2,727	2,727	B	継続	市民大学が開かれた地域教育の展開場所とするため、ボランティアとの連携をより一層図るとともに、市民の学習ニーズを的確に捉え、地域教育の視点も取り入れながら、育った人材の活躍の場としていくなど、より内容の充実したものを実施していくこと。
	担当課	生涯学習課				135	112					
8	子ども情報センター事業		主に、市内に住む小中学生	H13	情報誌発行回数	3	3	2,760	2,916	B	継続	子どもの生きる力の向上にむけた、自主的な体験活動を促進するために効果的な事業であり、さらに庁内外の情報提供側のニーズも高く施策目標への貢献度も高い。今後も子どもたちが求める情報を充実させ、事業の定着を図ること。
	担当課	生涯学習課				3	3					
9	成人式の開催事務		新成人	H13	成人式出席率	74.2	74.2	1,738	1,662	B	継続	新成人の門出を祝うとともに、成人としての権利や義務の自覚を促す「教育的意義」をもった成人式とし、成人教育の出発点とするため、内容や運営手法等を検討すること。また、各実施委員会において円滑な成人式の運営ができるよう支援していくこと。
	担当課	生涯学習課				73.8	72.4					
10	成人式実施委員会交付金		各成人式実施委員会	S23	成人式出席率	74.2	74.2	21,730	21,830	B	見直し	各中学校区毎の実施委員会方式やホテル・結婚式場での開催など特色ある成人式を開催し、出席率も70%台を維持しているが、今後は内容や運営手法等の検討により、さらに地域性を生かした記念事業を実施し、より多くの新成人が企画運営に参画できるよう検討すること。また、少子化により該当者数は減少傾向にあるが、出席率の向上に努めていくこと。
	担当課	生涯学習課				73.8	72.4					
11	宇都宮市地域婦人会連絡協議会補助金		宇都宮市地域婦人会連絡協議会が実施する事業	S36	県・市主催事業への協力等、地域の奉仕活動回数	12	12	500	500	B	継続	市の関係各課の事業実施にあたっての協力・支援活動が充実していることや、国・県の地域婦人会連絡協議会の市の窓口としての重要性もある。また、本市の成人教育及び青少年教育の推進に寄与する団体であることなどから、施策目標への貢献度も高いため、引き続き補助金を継続すること。
	担当課	生涯学習課				18	17					
12	宇都宮ユネスコ協会補助金		宇都宮ユネスコ協会が実施する事業	S36	ユネスコフォーラム参加者数	50	50	108	100	B	継続	ユネスコ活動については、市民の人権・国際理解の促進に寄与しており、社会をつくる人づくりの推進への貢献度は高い。今後は、活動が活性化するよう支援しながら、人権・国際理解教育を推進していくため、補助金を継続すること。
	担当課	生涯学習課				62	60					
13	あすなろ青年教室事業交付金		主として中学校特別支援学級を卒業した青年	H16	講座実施回数	21	21	327	327	C	継続	将来にわたり安定した事業運営ができるよう、実施委員会の組織を強化する必要があること。
	担当課	生涯学習課				21	21					
14	河内ふれあいコンサート交付金		一般市民（主に河内地域の市民対象）	H19	ふれあいfes. コンサート開催回数	1	1	4,645	3,932	C	廃止	河内地区住民を中心とした市民交流の場として、地域活性化に大きく貢献してきた事業であるが、他イベントとの一体的な推進により、より効果的・効率的に実施できることから本交付金は廃止すること。
	担当課	生涯学習課				1	1					
施 策 事 業 費 合 計								65,669	61,506			